

京都・南山城古寺巡礼

【国宝】 浄瑠璃寺九体阿弥陀如来像（平安時代） ©（一社）木津川市観光協会

浄瑠璃寺（九体寺）

極楽浄土を表現した庭園は、国の特別名勝・史跡。平安時代には、京都を中心に九体の阿弥陀如来を祀るお堂が多く造られたと云われますが、現存しているのは浄瑠璃寺だけです。本堂・九体阿弥陀如来像・四天王像・三重塔が国宝に指定されています。

吉祥天女像（重要文化財）は、豊かな暮らしと平和を授ける幸福の女神で、特別開扉の期間だけ拝観できます。



浄瑠璃寺吉祥天女像（重文・鎌倉時代）

海住山寺

聖武天皇が平城宮から遷都した恭仁宮を眺める山中にあり、境内からは、かつて泉川と呼ばれた木津川を展望できます。鎌倉時代に建立された国宝五重塔は、初重に裳階が設けられているのが特徴です。本尊の十一面観音は、平安時代のもので重要文化財です。



【国宝】 海住山寺五重塔（鎌倉時代）

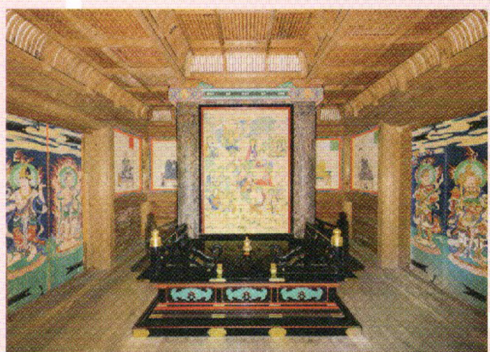
岩船寺

729年に聖武天皇の勅願で建立されたと伝えられ、本堂の阿弥陀如来像（重要文化財）は、高さ3メートルに迫る丈六の坐像で、制作日の判明する阿弥陀如来像の中で、岩船寺の像が一番古いと考えられています。

「花の寺」としても知られ、あじさいや紅葉など、四季折々の彩りも見どころです。



左上：岩船寺三重塔（重文・室町時代） ©（一社）木津川市観光協会
左下：岩船寺三重塔初層
右：阿弥陀如来像（重文・平安時代）



お茶の京都

Discover
Premium
Green